

# 青山山

発行/梅窓院 編集/青山文化村  
 発行日/平成15年6月1日  
 発行人/中島真成  
 住所/〒107-0062東京都港区南青山2-26-38  
 電話/03-3404-8447  
 FAX/03-3404-8107  
 ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/  
 E-Mail/jodo@baisouin.or.jp

題字/浄土門主総本山知恩院門跡  
 第八十六世中村康隆猥下

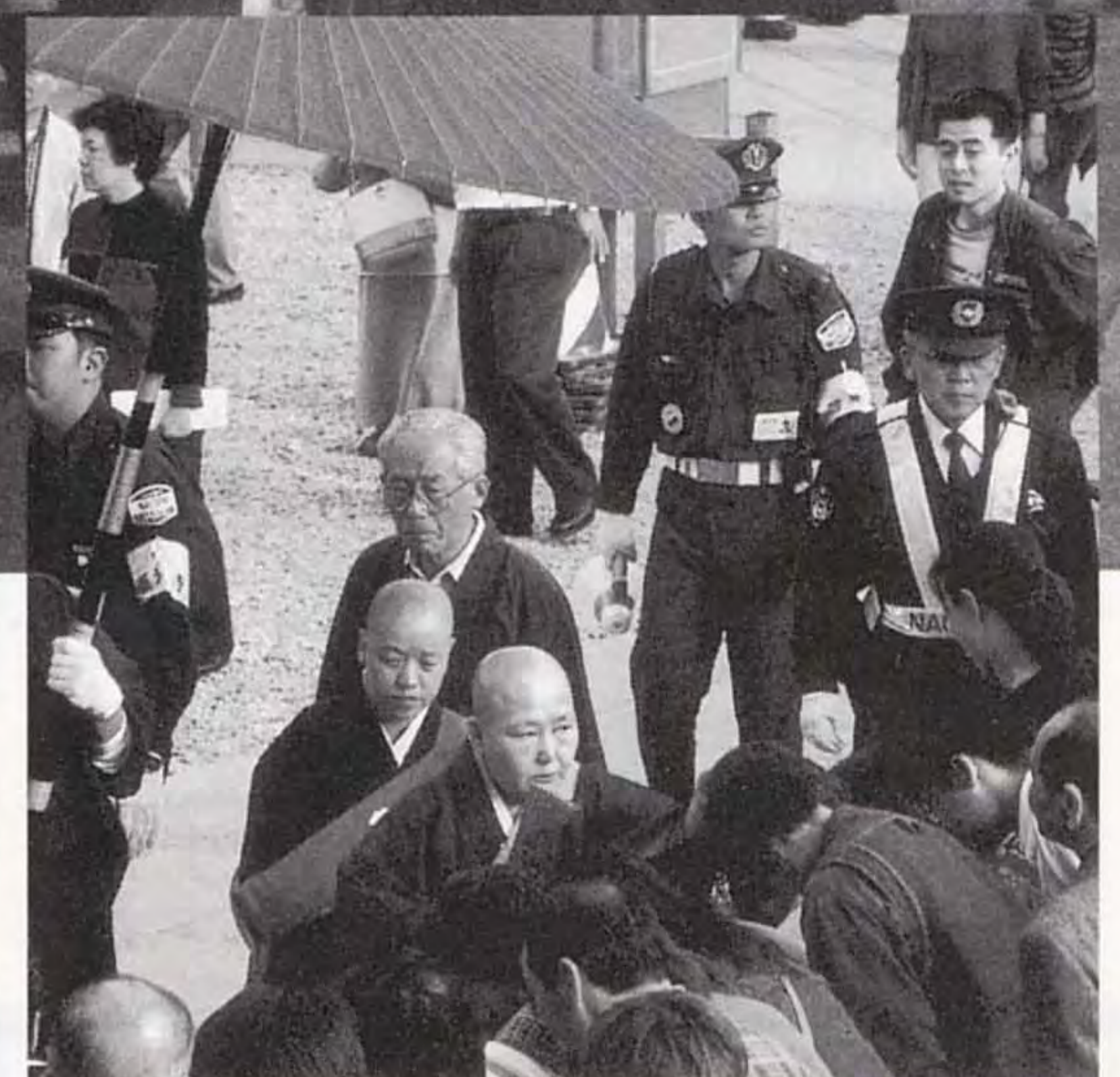
梅窓院団体参拝  
**信州善光寺参拝**  
 五月十六日～十七日



善光寺御開帳参拝  
 7年に1度の御開帳参拝に、総勢36名で行って参りました。早朝4時半からの法要も全員で出席し、大変充実した団参となりました。



回向柱は前立本尊と「善の網」で結ばれており、柱にふれる事で仏と縁を結ぶ事が出来ると云われています。



善光寺大本願尼公上人によるお数珠頂戴。

## 住職挨拶

梅窓院第二十五世 **中島真成**

この『青山』がお手元に届く頃、梅窓院の新しい建物が出来上がります。

二階の本堂以外の観音堂、祖師堂、客殿が完成し、施餓鬼をはじめ、工事前と同じように行事を再開します。長い間ご迷惑をおかけしました。

さて、今回の新本堂復興にあたっては以前に使っていたものをできるだけ残す方針で臨みました。梅窓院のシンボルだった講堂屋上の相輪は京都で修復し墓地奥に飾り、客殿の欄間や床柱は新客殿にそのまま移築しました。

何を残せて、何が残せないか。念仏を選び取られた法然上人に例えるのは少し大げさ過ぎますが、何かを残すには、捨てる勇気が必要なことを改めて認識させられました。

今年もまた護寺費、管理費を納めていただき、ありがとうございます。同封の会計報告をご覧下さい。

最後になりましたが、五月十八日、倉常寺副住職の梅田武仁上人が遷化されました。倉常寺に常住いただいた功は大きく、感謝の念に耐えられません。南無阿弥陀仏

彼岸の挨拶をする中島住職。







# 生きる（未生以前の青嵐）

長野市十念寺 副住職

## 袖山榮輝 上人

第一回（四回連載）

もう二十年も前のことになろうか。当時、坊さんになりたての私は東京下町にある実家の寺から大学に通い、ときたま葬儀・法事を手伝うという生活を送っていた。

ある時、町内の檀家で、何代も続く医院の大奥様が亡くなった。父が導師を勤め、兄と私が経を唱えた。

葬儀終了後、父と兄は火葬場へと同行し、私がひとり寺に戻ることになった。控え室で隣組のご婦人が「ご苦労様

でした」とお茶を出してくれたのだが、どうした訳か、まじまじと私の顔を見るなり、こう言うのである。

「へえー、あんたがKちゃんとお寺のKちゃんの子かい。昔は誰がお嫁に行くのか、そりゃあ、注目の的だったんだよ」

KとSは私の両親のこと。じつは母の実家はその医院と目と鼻の先にある。どこか含みのある微妙な話に私はただたじろぐばかりであった。

去秋、その実父が急逝し仏となった。通夜・葬儀と過ごすうち、若き日の父が町内で青年団を結成し、その活動の中で母と意気投合したことを初めて知った。お互い男女の中心メンバーだったらしい。

それにしても不思議なものだ。両親の馴れ初めを知った途端、二十年前に投げかけられた言葉が急によみがつてきたのである。しかも葬送の最中だというのに、その記憶が妙に心地よかつたりする。い

つたいこれは何だったのだ。五月、友人が住する京都鴨川縁にある寺院に赴いた。山門の脇にある掲示板に一句しただためらわれていた。

なつかしや

未生以前の青嵐

物理学者で近代を代表する随筆家寺田寅彦の作で、昭和十年七月に著した随筆を締めくくる一句である。青嵐とは新緑を颯爽と吹き抜ける南風のことであるが、その随筆には家族で都内を一日かけて散

策する話が綴られていた。

じつは寅彦には自身が生まれる前に亡くなった姉がいた。幼い頃「休日には欠かさず墓参り住まりに行つたものだ」と両親から聞かされた。歩くしかない時代、深川の住まいから谷中までほぼ一日がかりの墓参りであつたらしい。青嵐のせいだろうか、一家団欒の散策の最中、寅彦はふいと両親の昔話を思い出した。そして自身がこの世に「未だ生まれざる以前」の出来事が懐かしく思われたのである。

父の葬送のおり私を感じた「心地よさ」もきつとこの類のものだったのだろう。

人は量り知れない多くのご縁の積み重ねがあつてはじめてこの世に生をうける。命あるものはもちろん山川草木に至るまで、私たちはみな、お互い未生以前のさまざまなお縁で結ばれているのである。

未生以前の出来事が懐かしく心地よいと感じられるのも、そのせいなのだろう。

お釈迦さまの教えにしたがえば、未生以前のご縁に思いを寄せるとき、私たちの中に慈悲心が芽生えるという。

今現に生かされていることに感謝することが実は慈悲の心を育んでいる。実家を離れて十五年。父を失つた今、ようやく分かりかけてきた。

（浄土宗総合研究所研究員）

### 増上寺御忌 詠唱奉納大会

4月3日 増上寺にて



講員の皆さんと記念撮影。満開の桜が見事でした。

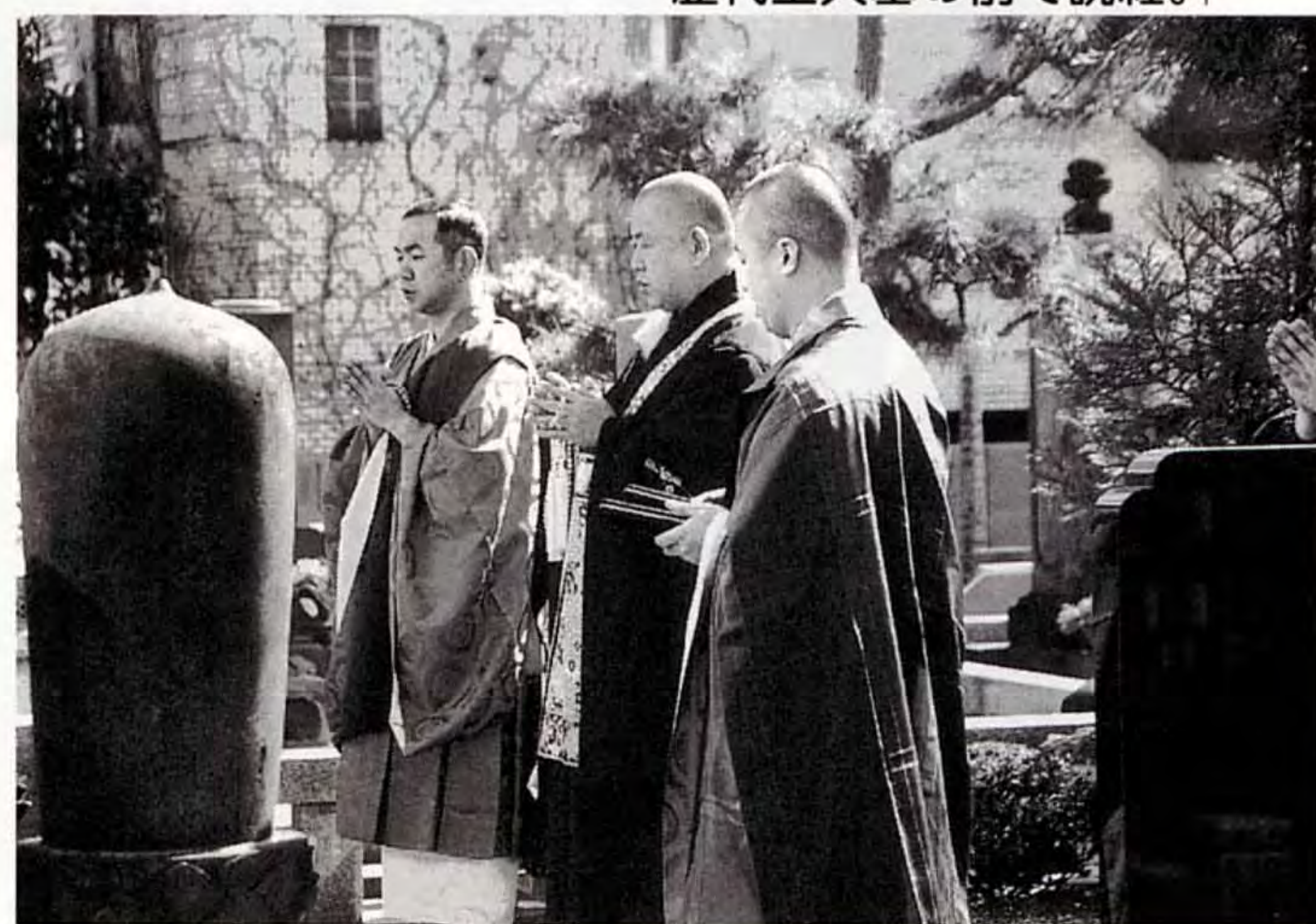


増上寺大殿にて詠唱奉納。金光上人鑽仰和讃6番をお唱えしました。

### 春彼岸会法要

3月21日 仮本堂にて

歴代上人墓の前で読経。





# 施餓鬼会法要

七月二十一日(月)

午前十時半)

本堂棟 一階 観音堂

別時念仏会 / 半斎供養

午後十二時)

本堂棟 一階 客殿

お斎 (お食事を頂きます)

午後一時)

本堂棟 地下二階 祖師堂

お説教 / 大施餓鬼会法要

- 施餓鬼会法要は新しく建てられた本堂棟内で行われます。
- 法要は午前十時半より開始となります。
- お時間をお間違えのないよう、お願い致します。

## お施餓鬼によせて

恒例のお施餓鬼は、今年は新本堂完成にともない、新本堂にて以前のように執り行われます。

お施餓鬼ではご先祖様のご供養は勿論のこと、無縁の方々へのご供養もさせて頂きます。その功德は回向され、延命長寿の功德があるとされています。

出欠はがきがお手元に届きますので、ご出席人数等も書き加えてご返送下さい。法要の途中からのご参加でも結構です。お斎等も出ますので、どうぞご家族皆さままでお参り下さい。  
(法務)

新しくなった  
梅窓院に  
お越し下さい。

特集 お盆とお施餓鬼

## 施餓鬼塔婆申込み

同封のはがきを使い7月7日必着でお申込み下さい。塔婆回向料は1本1万円とさせて頂きます。参加人数もご記入下さい。

## お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。(銀行でのお振込みは出来ません。)

仏教  
研究所  
だより

念仏と法話の会

二月二十六日(水)

法話 静岡教区龍善寺住職

向山瑞成上人

今回は参加者も多く、大変熱のこもった念仏の会となりました。「難しい事を分かりやすく」をモットーとされる向山上人の法話に、皆さん熱心に聞き入っていました。



# 盂蘭盆会法要

新しくなった  
梅窓院に  
お越し下さい。

特集  
お盆とお施餓鬼

七月十三日(日)

午前 十時半( )

本堂棟 一階 観音堂

## 盂蘭盆とお棚経

### 盂蘭盆の由来

お盆は日本では一般的な仏事で、正式には「盂蘭盆」といいます。もとはインドの古い言葉の「ウランバーナ」に漢字を当てたもので、逆さ吊りの苦痛を意味しています。お釈迦様の弟子のひとり目連上人は、自分の亡き母がどこにいるのかお釈迦さまの

### お棚経とは…

盂蘭盆のいずれかの日に、ご自宅に僧侶がお伺いして仏前にお経をあげて、ご先祖様の霊をとむらう事をいいます。精霊棚の前で読経することから「棚経」と呼ばれています。読経の間は、なるべくご家

神通力で見せてもらったところ、地獄に落ちて飢えと乾きに苦しんでいる事を知ります。それを見かねた目連上人は、どうしたら助けることが出来るかとお釈迦さまにお尋ねしたところ、多くの僧を招き、様々な馳走を供えて供養しなさいという教えを得ました。早速その通りにしたところ、母を地獄の苦しみから救うことが出来たといわれています。ご先祖の霊を自宅に迎えて供養し、苦しみの世界から救い出して浄土へ送りかえす「盂蘭盆」の習慣は、この「盂蘭盆経」というお経の仏説に由来しています。

### 盂蘭盆会法要

本来は、僧侶がお檀家様のお宅にお伺いして回向するのが望ましいのですが、梅窓院ではお檀家様の数が多いこと、またお檀家様のお宅が一軒一軒離れておりますので、新盆の方のみお伺いしております。新盆にあたられていない一般のお檀家様については、梅窓院にて皆様のご先祖様のご回向を致しておりますので、お手元の回向用紙にご先祖様の御戒名を記し、持参のうえ法要当日にご来寺下さい。受付にてお預かりの上、大法要中に住職が各家の霊位をご回向いたします。

### 精霊棚とは…

お盆を迎える準備として、まず各ご家庭にある仏壇や仏具をきれいにし、盆の入りまでにご先祖様を迎えるため、仏壇の前に「精霊棚（霊祭棚）」を設けます。

盂蘭盆の期間中は日に三度、仏壇または精霊棚に食事を供えます。これを「霊供膳」と呼び、故人の好物をお供えするとよいでしょう。

(法務)

※今年が新盆でないお檀家様も、お棚経のご希望がある場合は、当院までご相談ください。

※お手元の回向用紙は、塔婆の代わりになるものですので、七月十三日の法要当日、受付にお持ち下さい。

## 精霊棚の飾り方

- ①仏壇の前に小机を出し、真菰を敷く。(白地の布で代用可。)
- ②中心に位牌、過去帳を置く。花は左側に飾り、ろうそくは右側に立てる。
- ③季節の野菜、果物、故人の好物をお供え物として飾り、蓮の葉(小皿)の上に闍迦水(少量の水)と、ミソハギ(檜)の束を飾る。供物の邪気を払うために使います。
- ④水の子(さいの目に刻んだナスと洗い米を清水に浸したものを)を供える。先祖の霊だけでなく、全ての仏様や餓鬼への供物と考えられています。
- ⑤キュウリに割り箸の足を付けた馬(先祖の霊があので早く帰ってこられるように)と、ナスに割り箸の足を付けた牛(先祖の霊が牛に乗ってゆっくりあの世に戻っていくように)を飾る。
- ⑥精霊棚の両側に提灯を飾る。



精霊棚の飾り付例。

### 【葬儀連絡の際の諸注意】

もしもの時には、まず梅窓院へ第一報をお願い致します。

梅窓院では、大変多くのお檀家様とお付き合いさせて頂いています。その為、当院へご相談なく日時等をお決めになっても、法要・行事等の予定が入っている事もあり、ご希望の日時に執り行えない場合もありますので、ご注意の上、日時等は必ず事前にご相談下さい。





## 梅窓院墓地管理使用規定明文化について

梅窓院墓地の管理・運営につきましては、古くからの慣習及び墓地使用者のかたとお寺との信頼関係に基づき行われて参りましたが、現在墓地整備事業を進めていることもあり、慣習としてのお互いの了解事項をこのたび明文化致しました。宗教学法人法に則り平成15年3月21日開催の責任役員会及び総代会で全役員の賛同を得て承認され、平成15年4月1日より施行致しました「梅窓院墓地管理使用規定」の全文を以下に掲載致します。

### 梅窓院墓地管理使用規定

#### <目的・適用>

第一条 梅窓院（以下寺という）の管理・運営する墓地（以下墓地という）は寺に帰属する檀信徒、及びその縁故者の為に供される。

2. 本規定は、墓地等の管理・使用に関する基準を定め、その管理・使用の適正を図ることを目的とする。

#### <管理者>

第二条 墓地等の管理者（以下管理者という）は、寺の代表役員である住職とする。

#### <管理者の権限>

第三条 管理者は、本規定に従って墓地等を管理しなければならない。

#### <墓地等の使用者の資格>

第四条 墓地の使用は、寺の檀信徒に限る。但し、住職が認める場合はこの限りではない。

#### <墓地使用申し込みと使用許可>

第五条 墓地の使用を申し込む者は、申込書に所定の事項を記入・捺印した上で、墓地使用冥加料・護寺費・墓地管理費を納める。なお墓地の使用許可は、寺の発行する墓地使用許可証と入檀証の発行をもって行う。

2. 寺が前項の申し込みを承諾し墓籍簿に登録をしたときに、申込者は使用者になる。

3. 管理者が墓地の管理のため必要と認めるときは、管理者は、使用者に対し、必要な措置または特別な条件を付することができる。

4. 墓地使用冥加料・護寺費・管理費は、理由の如何にかかわらず使用者に還付しない。

#### <使用者の義務>

第六条 使用者は以下に定めるところに従って、墓地を使用しなければならない。

- ① 焼骨を埋蔵しようとするときは、予め管理者に対し、法令に基づく許可証（火葬・改葬）と梅窓院の発行する墓地使用許可証を提出し、管理者の許可を受けなければならない。
- ② 墓地使用者は、管理者の指定した区画を使用し、その区画を自己の費用で他人の区画と区分し、墓碑その他の工作物を設置し、その保全に当たるものとする。
- ③ 墓域上の工作物の設置及び移転並びに変更及び改造については、事前に管理者の承認を受けなければならない。なお墓域上の植栽に関しても同様である。
- ④ 使用者は定められた護寺費・墓地管理費を毎年1年分を前納しなければならない。
- ⑤ 使用者は寺の典礼をもって追善供養を行うものとする。
- ⑥ 墓域の工作植栽工事は、管理者の指定する業者によるものとする。
- ⑦ 使用者は、墓地使用許可証の発行より3ヶ月以内に墓碑工事の契約を行い、1年以内には石碑建立工事を完了し、その後3ヶ月以内には開眼法要を行うものとする。
- ⑧ 管理者は上記工作工事・植栽について、高さ・型・色・種類等について一定の制限を設けることができる。

#### <違反行為による使用契約の解除>

第七条 使用者が以下に該当するときは、寺はその使用を解除することができる。

- ① 寺の典礼、法要、儀式及び慣行を無視し、または妨げたとき。
- ② 境内または墓地内で、他寺の典礼・法要・儀式その他の宗教行為を行ったとき。
- ③ 使用者が寺の檀信徒でなくなったとき。
- ④ 使用者が使用権を第三者に譲渡・転貸したとき。
- ⑤ 使用者が指定業者以外で墓地に関する一切の工事をしたとき。
- ⑥ 使用者が墓碑工事を使用許可された日から起算して3ヶ月以内に契約せず、1年以内に工事完了しないとき。
- ⑦ 使用者が工作工事・植栽の制限について、管理者の指示に従わないとき。

2. 使用者が以下に該当するときは、管理者の定める一定の期間内に履行もしくは改善もしくは除去を催告し、墓地使用者がその期間内に管理者の催告に従わないときは、寺はその使用契約を解除することができる。

- ① 墓地以外の目的に使用するとき。
- ② 土葬するとき。
- ③ 禽獣を埋葬するとき。
- ④ 正当の事由なく5年以上寺に参詣しないとき。
- ⑤ 3年以上管理者の了承なく護寺費もしくは墓地管理費を滞納したとき。
- ⑥ 墓地上の墓碑その他の工作物が倒壊・破損その他修繕を要する状態にあるとき。

#### <使用の継承>

第八条 使用者が死亡したときは、家名継承者の代表者を祭祀承継者（民法第八九七条）とする。使用権の継承者は寺に対し、遅滞なく届出、許可を得なければならない。

2. 使用者が生前にその地位を親族またはそれ以外のものに継承せしめる必要が生じたときは、その旨を願い出て寺の承認を得なければならない。

#### <管理権に基づく措置>

第九条 管理者が墓地につき、公用収用のため、または整備その他の必要のため、使用者に対して改葬・移設を求めたときは、使用者はこれを拒んではならない。

2. 本規定第七条により使用契約が解除されたときは、使用者は直ちに墓域上の墓碑その他の工作物を撤去する等原状に復して、墓域を管理者に返還しなければならない。

3. 使用契約を解除された後半年以内に墓地使用者が前項の手続きを完了しないときは、管理者は、その墓域に関する改葬を行うことができる。

以上





### 第三番

## 金龍山大円寺

札所本尊 聖観世音菩薩

# 江戸三十三観音

## 札所めぐり 第八回

浅草から目黒まで、ぐるり東京一周江戸観音札所巡りの旅。今回は港区・文京区と都心のお寺を廻ります。ついに第二四番梅窓院が廻ってきました。新たに完成した本堂棟の一階が観音堂となります。皆さまぜひお気軽にお参り下さい。

### 第二番

## 補陀山大本山 長谷寺

札所本尊 十一面観世音菩薩

六本木通りから、一步奥まった所に広大な敷地を持つ長谷寺。禅の修業道場でもあることから、ここが都心の真ん中である事を忘れてしまう静謐さに包まれています。現在、楠の一本彫、高さ約十メートルある観音像は「麻布大観音」として親しまれています。

日比谷線六本木駅より渋谷駅行バスにて南青山七丁目下車



### 第二四番

## 長青山梅窓院

札所本尊 泰平観世音菩薩

江戸時代より「青山の観音様」と呼ばれ親しまれてきました。戦前までは、毎月三十七・二十三日の縁日に夜店も出て、大変な賑わいを呈しておりました。現在では泰平観音という名の示す通り、世界平和を祈願する霊像として祈願されております。

お寺の建ち並ぶ本郷通りと旧白山通りの間に位置する大円寺。近くには学校や公園もあり、緑が多い和む場所です。ご朱印に七観音とあるように、本堂には七体の観音像が整然と並び、迫力を感じます。客殿から望む中庭には、もみじを中心植えられており、秋に大変美しく色づきます。

地下鉄三田線 白山駅下車/JR東横線より都営バスにて白山上下車

## 五 六本木ヒルズ

三十三観音近隣散歩  
22番長谷寺のすぐ傍、今年4月、新たにお目見えした六本木ヒルズ。ショップやレストラン、美術館、映画館などから、オフィス、住居までもが複合的に建ち並び、文化性・国際性を追求したハイセンスな街が広がっています。

中心にあって一際目立つビル「森タワー」は地上54階の超高層ビル。海拔270m地点には空中回廊「東京スカイデッキ」が開設されており、眼下に広がる壮大な景観と東京の街並みが楽しめます。

今一番話題のスポット、六本木ヒルズ。ぜひチェックしてみたいはいかがですか。

梅窓院から見た六本木ヒルズ。



地下鉄銀座線 外苑前駅1b 出口すぐ



第一番 浅草寺	第二番 清水寺	第三番 大観音	第四番 回向院	第五番 大安楽寺	第六番 清水観音堂	第七番 心城院	第八番 清林寺	第九番 定泉寺	第十番 浄心寺	第十一番 圓乗寺	第十二番 傳通院	第十三番 護国寺	第十四番 金業院	第十五番 放生寺	第十六番 安養寺	第十七番 寶福寺	第十八番 真成院	第十九番 東円寺	第二十番 天徳寺	第二十一番 増上寺	第二十二番 長谷寺	第二十三番 大円寺	第二四番 梅窓院	第二五番	第二六番	第二七番	第二八番	第二九番	第三〇番	第三一番	第三二番	第三三番
---------	---------	---------	---------	----------	-----------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

### 江戸三十三観音御朱印

### 読者の広場

以前あった山門はどこに復興されるのですか？ (港区 Aさん他)

山門は現在修繕作業を行っております。今秋までには設けられる予定となっておりますので、もう暫くお待ち下さい。

山門の設置を含め、境内の整備も進んでおります。全て完了しますと、青山通りに面して竹林を配した参道が通ります。その参道の奥に山門が設けられます。山門をくぐると正面に梅窓院受付が設けられていますので、そこで皆さまにご案内が出来るようになっております。

山門や参道など境内の整備完了は、今年の秋を目標に進めております。今しばらく皆さまにはご迷惑をお掛け致しますが、ご理解ご協力をお願い致します。



「読者の広場」では皆さまからの「声」を大募集しております。ご意見やご質問、広報誌「青山」へのご感想など、ぜひお聞かせ下さい。

〒一〇七-〇〇六二  
港区南青山二-二六-二八  
梅窓院「青山」編集部宛





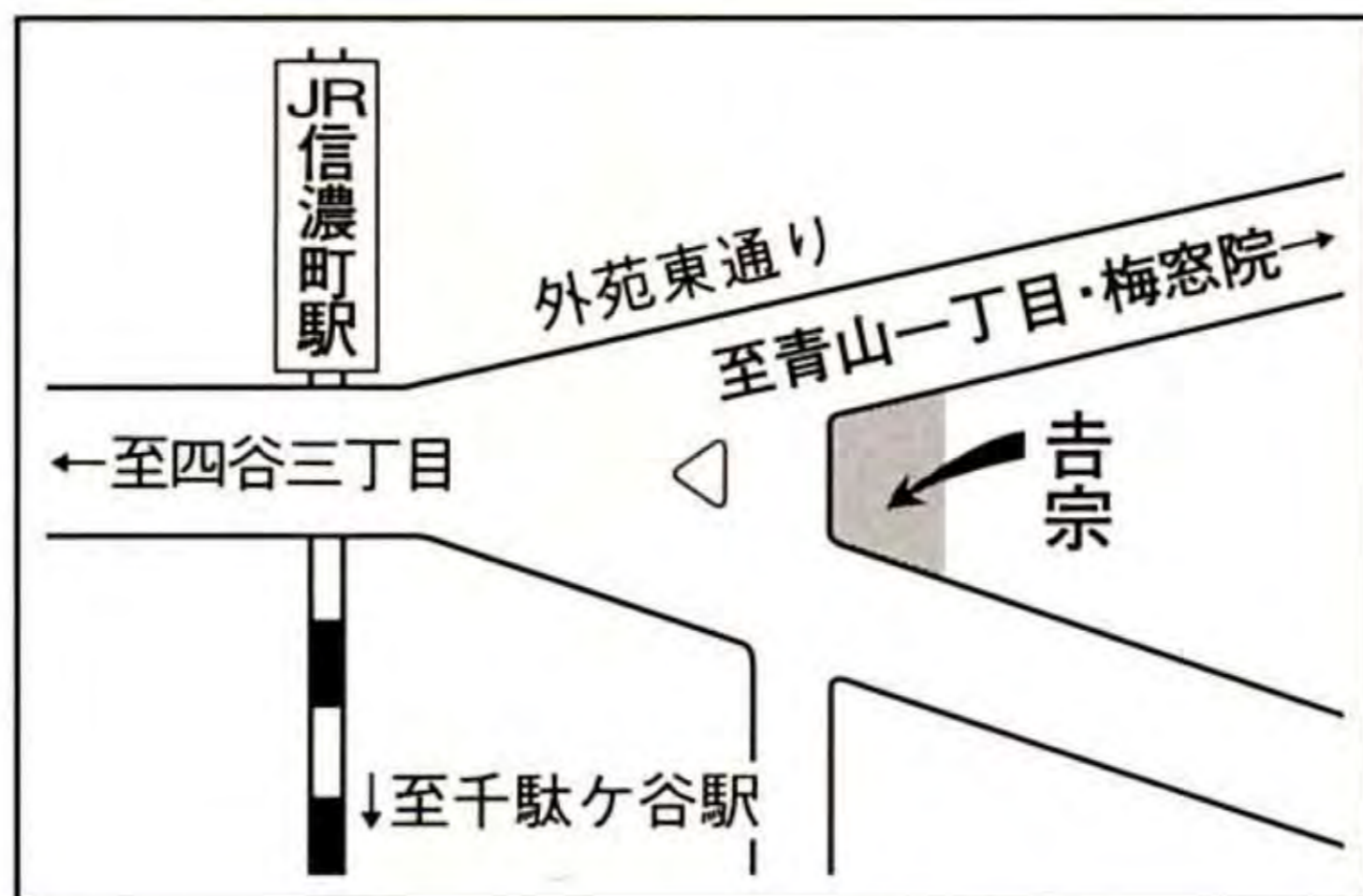
青山散歩道

吉宗(よっそう)  
外苑店

都心で本格的な長崎の味を  
楽しめる店として、銀座店に  
引き続き、昭和五二年に「吉宗」  
外苑店がオープンしました。

長崎といえばチャンポン、皿  
うどんが有名ですが、吉宗で  
は茶碗むしとむし寿しがセッ  
トになった「夫婦蒸し」が、  
看板メニューです。

吉宗創業百三十年以来、親  
しまれてきた「夫婦蒸し」。



TEL 03-3478-7676  
新宿区南元町22-3  
神宮外苑休憩所内/信濃町駅前すぐ  
(梅窓院からゆっくりあるいて25分)  
営業時間/  
平日11時~20時半  
ランチタイム11時~14時  
日・祭日11時~20時  
定休日/第2月曜日  
お座敷/60名様まで

食は命なり

第十一回

武鈴子

食養研究家

「梅」食中毒予防の妙薬

「疲労は万病のもと」といわ  
れますが、夏場は特に疲れや  
すい。その疲れを防いでくれ  
るのが「梅」です。梅の主成  
分であるクエン酸が、私たち  
が摂取した糖質、脂肪、タン  
パク質を、エネルギーや炭酸  
ガス、水に変換して、疲労の  
原因物質である乳酸を残さな  
いようにしてくれるからです。

梅は強い殺菌力で食物の腐  
敗を防ぎ、体をアルカリ性に  
して病気を予防し、肩こりを  
消し、血液を浄化し、疲れを  
いやし、美容・ダイエットに  
よいなど、素晴らしい効能が  
あります。この事から古来よ  
り「家庭お医者」として重宝  
され、どこの家庭でも食卓に  
は必ず梅干がおかれていまし  
た。夏の食中毒予防に、梅干  
の活用法をご紹介します。

梅ごはん

米1合に対して、梅干1個  
を入れてご飯を炊く。梅干は  
種を除いて包丁で細かくたた  
いて入れる。食欲が減退気味  
の夏は、爽やかな梅の酸味が  
食欲をそそるので、夏バテ防  
止には最適。

梅ハニー

梅干の皮と種を取り除いて、  
梅干を万能濾し器で濾し、ハ  
チミツを加えて混ぜる。作り  
置きしておくとも便利。納豆の  
タレ代わりに使うと、「うめ〜  
納豆」になる。ほうれん草、  
春菊、小松菜など緑野菜を和  
えると肝臓の薬になる。人気  
のカスピ海ヨーグルトと混ぜ  
合わせるとオーロラソースが  
できる。

青山俳壇

選者・『ウエツプ俳句通信』編集長 大崎紀夫

つくし／桜餅

◎特選

会えばすぐお国訛りやつくしんぼ

(評)ふるさとの道で、あるいはどこか野道で旧知の人とで  
あったのでしよう。会うなりお国訛りで話し始め、旧交を  
温めるといふほほえましい景が伝わってきます。

◎佳作

葉と共に香りいただく桜餅

さみどりの茶碗のかたへ桜餅

つくしんぼここはお台場埋立地

機関車の影まなうらに土筆摘む

散策のあとの至福や桜餅

夜の月を眺めながらの桜餅

◎選者詠

身ほとりに風のこゑあり土筆摘む

大崎紀夫

ヘンポイントアドバイス

俳句では語句に「春・夏・秋・冬」がつかなくても、季  
語になりうる単語が幾つも出てきます。

例えば「祭り」はそれだけで夏を表す季語なので「夏祭  
り」とはしません。しかし、秋のお祭りを詠む場合には

「秋祭り」とする必要がありません。

単語に隠された「季節」に注意して詠みましょう。

投句募集

次回のテーマは「茄子」「かぶとむし」です。7月21日を締切、  
9月上旬発送の『秋彼岸号』にて発表させていただきます。住所、氏  
名、年齢をお書き添えの上、ご応募下さい。お待ちしております。

※港区南青山2-26-38

梅窓院

「青山俳壇」投句募集係

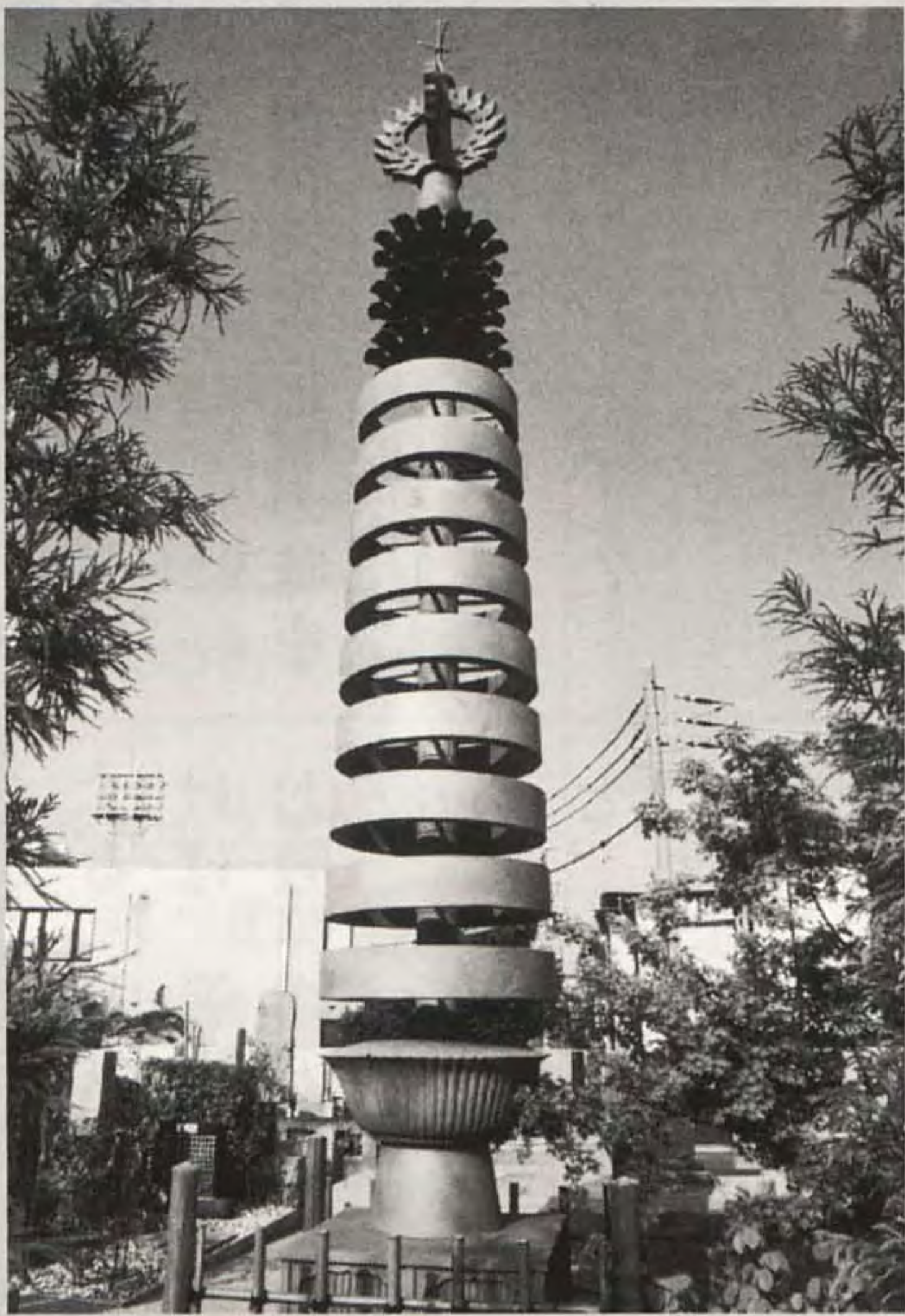
「やぶれ傘」 会員募集  
青山俳壇の選者、大崎紀夫先  
生による俳句の会です。ご興  
味のある方は、左記の番号ま  
でご連絡ください。  
※ウエツプ編集室  
電話〇三(五三六八)一八七〇



・ 行 ・ 事 ・ 予 ・ 定 ・



◆梅窓院だより◆



梅窓院旧本堂相輪。旧本堂は老朽化に伴い解体されましたが、相輪は伝統と歴史を伝えるものとして、墓苑内に保存される事になりました。

新本堂棟竣工

平成13年より進めてまいりました新本堂復興事業ですが、この度本堂棟が完成致しました。

6月18日に竣工式が行われました。今後、法要・業務など全て、こちらの本堂棟にて行われる事になります。内部の詳細につきましては、同封の案内図をご覧ください。

工事期間中は、皆さまには多大なご迷惑をお掛け致しました。ご協力ありがとうございました。

新本堂棟。  
(5月28日墓地より撮影)



- 盂蘭盆会法要**  
七月十三日(日)  
午前十時半より  
本堂棟 一階 観音堂
- 施餓鬼会法要**  
七月二十一日(月)  
午前十時半より  
本堂棟 一階 観音堂  
二階 客殿  
地下二階 祖師堂
- 郡上おどり in 青山**  
九月十三日(土)・十四日(日)  
梅窓院境内
- 秋彼岸会法要**  
九月二十三日(火)  
本堂棟地下二階 祖師堂
- 十夜法要**  
十一月十五日(土)  
本堂棟地下二階 祖師堂

訪問予定のベルヴェデーレ宮殿(ウィーン)。



三ヶ寺合同 海外団参旅行  
魅惑の国オーストリアと  
古都プラハを訪ねて

8月20日(水)～28日(木) 9日間

傳通院・祐天寺・梅窓院の三ヶ寺合同の恒例行事となりました海外団参旅行。本年度は当院でのリサイクルでお馴染みのファンデンフック氏を訪ねます。

詳しくは同封の案内をご覧ください。

梅窓院  
通信